



# 咽頭結膜熱、流行性角膜炎 アデノウイルスにご注意を！

平成 29 年 6 月 7 日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

## 感染症発生動向速報

(平成 29 年第 22 週分・5 月 29 日～6 月 4 日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●咽頭結膜熱（プール熱）・流行性角結膜炎（はやり目）

咽頭結膜熱と流行性角結膜炎は、いずれもアデノウイルスを原因とする急性のウイルス感染症です。夏期に増加する傾向がありますが、一年を通じて報告されています（図）。

咽頭結膜熱は、潜伏期（5～7 日）の後、発熱、咽頭炎、結膜炎などの症状が出現し、それらが 3～5 日間続きます。夏かぜとして流行することがあり「プール熱」と呼ばれます。小児に多く 5 歳以下からの報告が 8 割以上を占めています。咽頭結膜熱の流行をおこすのは多くはアデノウイルス 3 型ですが、4, 7 型など他の型による場合もみられます。

流行性角結膜炎は、潜伏期（1～2 週間）の後、急性に発症します。結膜の浮腫や充血、まぶたの腫れが強く、目やにや涙が出ます。多くは 2～3 週間で治癒します。小児に多いのですが、成人を含む幅広い年齢層にみられます。アデノウイルス 8, 19, 37, 54 型などがおもな原因となります。流行性角結膜炎の報告数は、今年に入ってから多い状態で推移しているので注意が必要です（下図）。地域別では、高岡厚生センター管内からの報告が特に多くなっています。

アデノウイルスは非常に感染力が強く、患者が触れたものを介して感染する接触感染や、飛沫感染により感染します。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を防ぎましょう。

- ▶ 帰宅時、食事の前、トイレの後、患者の看護の後は必ず石鹸と流水で手を洗いましょう。
- ▶ タオルやハンカチなどの共用は止めましょう。
- ▶ タオルや器具等には塩素消毒や熱湯消毒が有効です。

### 《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 7 件（①第 20 週診断分：80 歳代、男性 ②第 21 週診断分：70 歳代、男性 ③90 歳代、女性 ④50 歳代、女性 ⑤60 歳代、男性 ⑥80 歳代、女性 ⑦80 歳代、男性）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 5 件（①70 歳代、女性 ②10 歳代、男性 ③10 歳代、女性 ④50 歳代、女性 ⑤50 歳代、男性 すべて O157,VT1VT2）

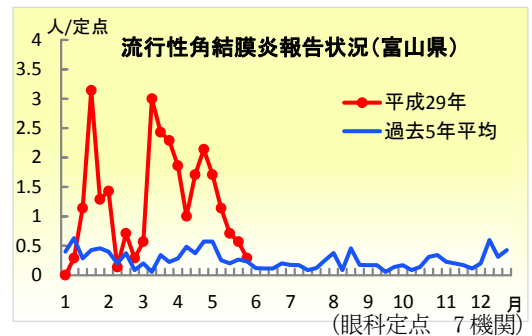
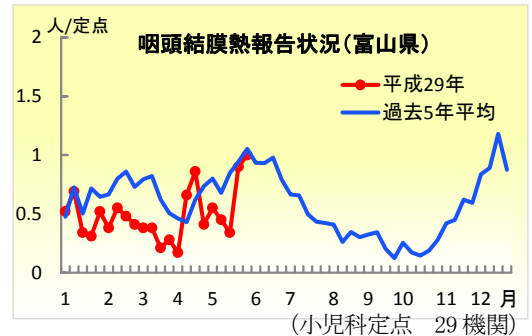
五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 2 件（①50 歳代、男性 ②60 歳代、女性）

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	10.62	12.17	↓
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.24	2.00	↑
3 位	咽頭結膜熱	1.00	0.90	↑
4 位	手足口病	0.86	1.59	↓
5 位	流行性耳下腺炎	0.83	1.00	↓
6 位	突発性発しん	0.55	0.48	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第22週 平成29年5月29日～平成29年6月4日）

分類	疾患	今週報告分（第22週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1	2	1	1	5	8	5	22	9	34	78
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					5	5			1	1	6	8
四類感染症	A型肝炎							2				1	3
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							1		5	1	4	11
五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1			4		5
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）											1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		3	5
	後天性免疫不全症候群									1		1	2
	ジアルジア症							2					2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症					2	2	3		2	1	13	19
梅毒									2		2	4	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ				1	1	1	1,886	1,363	2,444	1,550	3,408	10,651
					0.14	0.02							
	RSウイルス感染症	2				9	11	28	21	22	35	286	392
		0.50				0.90	0.38						
	咽頭結膜熱	2		13		14	29	24	13	134	50	92	313
		0.50		1.63		1.40	1.00						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	1	25	5	29	65	86	26	525	176	390	1,203
		1.25	0.33	3.13	1.25	2.90	2.24						
	感染性胃腸炎	43	22	78	18	147	308	843	574	877	435	1,878	4,607
		10.75	7.33	9.75	4.50	14.70	10.62						
	水痘	1	2			7	10	5	28	57	25	82	197
		0.25	0.67			0.70	0.34						
	手足口病	1	4	3		17	25	1	26	82	6	175	290
		0.25	1.33	0.38		1.70	0.86						
	伝染性紅斑									2	1	10	13
	突発性発しん	2	2	3	3	6	16	23	17	87	43	71	241
		0.50	0.67	0.38	0.75	0.60	0.55						
	百日咳									2			2
	ヘルパンギーナ		1			1	2	5	5	7	4	1	22
			0.33			0.10	0.07						
	流行性耳下腺炎	6		3	3	12	24	99	58	338	71	296	862
		1.50		0.38	0.75	1.20	0.83						
	急性出血性結膜炎									3	2		5
流行性角結膜炎			1		1	2		1	188	2	4	195	
			0.50		0.50	0.29							
細菌性髄膜炎							1					1	
無菌性髄膜炎							1				1	2	
マイコプラズマ肺炎					2	2	9	2	10	7	13	41	
					2.00	0.40							
クラミジア肺炎											1	1	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		12	21	10	53	
インフルエンザによる入院患者（*）	1			1		2	54	3	37	105	97	296	